

2014年の電波伝搬実験について

de JA1RIZ

今年の実験移動は、コントロール局および移動局=12ポイント、17局の参加局がありました。例年より参加局が多く、各地に展開して頂きました。JR2CTR局が長野県へ、JA9EBS局が岐阜県へと移動し今までにないポイントからの運用もありました。

各局の移動展開状況として、最北端：JJ1SXA(日光)、最南端：JA1WYU(伊豆・達磨山)、最西端：JA9EBS(岐阜・猪臥山)、最東端：JA1FYQ(鴨川市・愛宕山)に囲まれたエリアでした。

各地ともほぼ天気には恵まれたのではないかと思います。コントロール局はじめ各局お疲れさまでした。

各局の最大の関心事であった最長距離交信など、暫定結果として次の様に発表いたします。

(1) 最長距離交信 (暫定)

順位	移動局 A	移動局 B	相互距離(km)
1	JJ1SXA/1 栃木県日光市	JA9EBS/2 岐阜県高山市	219.4
	JA9EBS/2 岐阜県高山市	JJ1SXA/1 栃木県日光	219.4
2	JA1FYQ/1 千葉県鴨川市	JR2CTR/Φ長野県王滝村	209.3
	JR2CTR/Φ長野県王滝村	JA1FYQ/1 千葉県鴨川市	209.3
3	JA1UPE/1 神奈川箱根町	JJ1SXA/1 栃木県日光市	173.4

1位の移動局 A ⇔ 移動局 B は相互に、RS=51/51で交信が出来ました。中間伝搬経路に山岳地帯を抱えるが、両局とも海拔高は単純見通し距離は約303kmである。中間の山岳遮へいがあるものと推測されかろうじて交信が成立した。

2位についての伝搬は、両局間の見通し距離=263kmであり単純見通し(相互の標高のみの条件で見通し距離を算出したもの。以下同様)になっているが1位と同様、中間の山岳遮へいがありRS=31/41でギリギリの信号強度でした。

3位の伝搬は見通し距離277kmですから見通し内伝搬になっています。しかし、前述と同様に山岳等による遮へいがあったものと思われます。(RS=51/51)

今年の最大離隔距離のポイントは、[JA9EBS/2⇔JA1FYQ/1:約289km]でしたがJA1FYQ局がRS=21でかろうじて信号受信できたものの交信には至りませんでした。

(2) 最多ポイント交信

順位	移動局	ポイント数
1	JA1FYQ/1 鴨川市	10
2	JJ1SXA/1 日光市	10

なお、番外としてコントロール局は、交信ポイント10でしたので、キー局としてFBな移動地で

あったといえると思います。

(3) その他

◎ 各局のレポートの中の緯度・経度の表示があきらかに実際と異なっているものが複数ありました。国土地理院その他のホームページの地図アプリケーションを利用すれば、緯度・経度の数値入力で正確な位置が地図上で分かります。カーナビのデータを利用する人もいるかと思いますが、必ず地図上にポイントを落として、確認をお願い致します。各局間の伝搬距離は緯度・経度の値をもって算出していますので、緯度経度の誤差があると正確な距離が出ませんのでよろしくお願い致します。

尚、これらのアプリケーションは池さんの240ホームページでも紹介されていますので参考にしてみてください。

◎ すべてのデータが承認できます様、参加者全員のレポート提出をお願いしたかったのですが、期限までに未提出がありました。その為、その局のデータは参考データとして取り扱うことになってしまいます。せつかくの移動結果ですから次回は期日までに提出をお願い致します。

何はともあれ各局各位の御協力には感謝いたします。

コントロール局を担当の斉藤OM、宍戸OMお疲れ様でした。

技術講習会では、伝搬実験の結果についてのご意見、提案、感想などよろしくお願い致します。

以 上

201/07/7 出稿